

南那珂の普及活動 (普及活動月報)

令和8年3月
南那珂農林振興局
(南那珂農業改良普及センター)

Ⅰ 管内農業・農村の主な動き

1 令和7年度第2回農業経営指導士との意見交換会の開催

2日、本年度第2回目となる標記会議を普及センターで開催しました。管内の農業経営指導士7名が出席し、普及センターの令和7年度活動実績を説明後、意見を交わしました。意見交換では、地域計画への新規就農者の位置づけ、水田農業の経営方針、茶生産、かんしょ対策、高温対策等について意見をいただきました。

今後とも地域農業者の代表である農業経営指導士の皆様とともに、より連携した活動に取り組んでまいります。



意見交換の様子

2 南那珂地域農業法人交流会の開催

5日、持続可能な経営体への成長と、地域内でのネットワーク構築を図ることを目的に、南那珂地域農業法人交流会を開催しました。本交流会には、管内の8法人および1個人経営体が参加し、2部構成で行いました。

第1部では、中小企業診断士の山元理氏を招聘し、「農業法人のための経営戦略ーイチヨウの葉戦略ー」をテーマに、経営のリスクマネジメント等についての講演が行われました。

第2部では、講師、関係機関、相談所（宮崎県農業経営相談所、宮崎県よろず支援拠点、宮崎県農業法人経営者協会）を交えた交流会を実施しました。専門家への個別相談（経営改善、税務、雇用等）や、法人同士の積極的な情報交換が行われました。本交流会を開催したことで、名前は知っていたが直接話すのは初めてという法人もあり、地域内における「顔の見える関係性」の構築に寄与できました。今後も地域の重要な担い手である法人との連携を強化し、支援等に取り組んでまいります。



講演の様子

3 県知事による南那珂地域家畜市場視察及び生産者との意見交換が実施

11日、南那珂地域家畜市場にて、河野知事による南那珂家畜市場の視察が行われました。当日は、肉用牛繁殖経営4名（はまゆう生産牛部会3支部、串間市大束肉用牛部会の各支部長推薦者）、及び肉用牛肥育経営1名（はまゆう肉牛部会 武田部会長）が河野知事と経営上の課題等について、意見交換を行いました。



意見交換の様子

4 南那珂肉用牛重点指導プロジェクトの巡回を実施

2日、関係機関が連携して、串間市の肉用牛繁殖農家3件に対し、子牛事故率低減及び子牛の発育改善を目的とした巡回を行い、子牛の体測等を実施しました。今後も定期的に巡回し、管内の生産性向上のため支援いたします。

5 第13回全国和牛能力共進会肉牛の部南那珂地域候補牛買上げが実施

9日、第13回全国和牛能力共進会肉牛の部について、南那珂地域の候補牛12頭（管内産子牛10頭、管外産子牛2頭）の買上げが行われました。

当日は、月齢に応じた発育、体型等について1頭ずつ慎重な検査が行われた後、管内肥育農家3戸によって候補牛の買上げが実施されました。

今後は、令和9年に開催される第13回全国和牛能力共進会肉牛の部への出品を目指し、地域一丸となって取り組んでいきます。



候補牛検査の様子

6 南那珂和牛育種組合現地検討会が開催

24日、南那珂地域家畜市場にて、南那珂和牛育種組合現地検討会が開催され、「これからの育種事業の方向性について」の講演が行われました。

また、研究牛調査として、日南市・佐藤浩一郎氏の「うえかね20」号（嗣芳土井の母牛）及び「うえかね206」号（うえかね20号産子）、日南市・安楽亮汰氏の「さおり32の1」号（七琉久の母牛）、串間市・奥村秀光氏の「やすまさ」号（三大祖南那珂産種雄牛）、串間市・深江将央氏の「えいこみらい52」号（三大祖南那珂産種雄牛）の計5頭の調査が行われ、特徴や美点惜点について説明が行われました。



現地検討会の様子

II 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト（基本、専門、重点）に関する普及活動

総1 地域農業の担い手確保と技術・経営管理能力向上による人材育成

1) 第4回南那珂地域青年農業者等支援連絡会議を開催

25日、南那珂地域の人材育成、担い手確保に係る中核的な連携会議である南那珂地域青年農業者等支援連絡会議を開催しました。

新規就農者の相談状況、認定新規就農者の営農状況の共有、令和8年度に向けた各関係機関の取組計画の情報交換、新年度補助事業等に関する情報共有等を行いました。

特に、令和8年度が初年度となる次期長期計画（後期計画）における地域プランでの、新規就農支援対策の取組について、関係機関に共有し、来年度からのスムーズな施策実施に協力を呼びかけました。

今後も引き続き、産地サポート体制の充実にに向けた連携に取り組んでいきます。



令和8年度に向けた協議を実施

総2 南那珂地域における持続可能な水田農業の実現

1) タマネギの青果市場評価の実施

3日、宮崎市の青果市場においてタマネギの市場評価を実施しました。

串間市大島堰北部地区では、基盤整備を契機に水田の裏作としてタマネギの導入及び栽培面積の拡大を検討しています。今回は、今後の販売等を見据え、品質や出荷時期、販売面での取組方向について市場関係者と意見交換を行い、当該地区における導入や展開の可能性について整理を行いました。

今後は、今回の市場からの意見も参考に、規模拡大や販売力向上に向けた取組を支援していきます。

2) 串間市大島堰北部におけるタマネギ収穫機械実演会の開催

4日、串間市大島堰北部地区において、生産者及び関係機関を対象に、省力化の検討の一環として、タマネギ収穫機械の実演会を開催しました。

実演会では、機械メーカーから機械の特徴や導入効果について説明を受けた後、実演機による掘り上げ作業を行い、作業性や導入効果について意見交換を行いました。

今後は、さらに栽培規模拡大に向けた省力化の技術検討を進めるとともに、引き続き、水稻とタマネギを組み合わせた二毛作体系の栽培支援を行ってまいります。



実演会の様子

3) みのさきファーム理事会及びみのさき地区農用地利用改善団体役員会が開催

9日、みのさきファーム理事会及びみのさき地区農用地利用改善団体役員会が開催されました。理事会では、イタリアンライグラスの生育状況や田植え作業の受託予定面積についての報告が行われました。改善団体役員会では、地域計画・目標地区の進捗管理について話し合われました。

引き続き、地域営農の継続について支援します。

専1 産地ビジョンに基づいた食用かんしょ産地の維持

1) かんしょの苗床巡回を実施

2日、6日、10日の3日間、管内かんしょ生産者の苗床巡回を行いました。

現在の苗床での生育については、概ね順調ですが、一部の苗床では、基腐病等の発生が確認されています。発病株やその周辺株の抜き取り、抜き取り後の銅剤の散布といった対策が徹底されました。

気温の上昇に伴い、害虫や基腐病の発生リスクが高まります。今後も関係機関・団体と協力して継続的に苗床巡回を行い、害虫や基腐病の発生確認時には速やかな対応を呼びかけるなど、8年産の本圃での被害低減に取り組んでいきます。



かんしょの苗床

専2 マーケットインを意識した産地再編による茶業経営の安定

1) 串間市茶業振興会総会が開催

23日、串間市役所において生産者7名、関係機関10名が参集し、串間市茶業振興会の総会が開催されました。

総会后、振興局から茶に係る物価高騰対策事業説明の他、専門技術センターから、「茶業の動向と最近の気候」について説明がありました。

早生種の萌芽状況については、昨年と比べて2～3日早い傾向が見られる他、茶園によっては、カンザワハダニ、チャトゲコナジラミの発生が多いことから、注意喚起を行いました。



総会の様子

専3 10年後の産地を担う畜産経営体の育成

1) 重点対象農家の巡回を実施

18日、26日、30日に、日南市及び串間市の重点対象農家（肉用牛繁殖農家2名、酪農家1名）の巡回を行い、今後の粗飼料収穫や作付け予定の確認、資金繰りの状況確認等を行いました。

また、重点対象農家のほ場を随時巡回し、生育状況の確認を行いました。

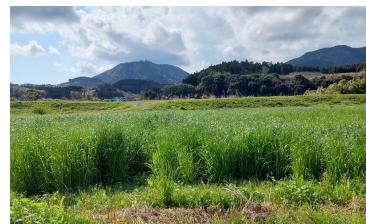
引き続き、定期的な巡回を行い、生産性向上を目的とした牛の飼養管理について支援します。

2) 飼料作物展示ほの収量調査を実施

25日、串間市のほ場にて、いもち病抵抗性イタリアンライグラス「フェワセ」の展示ほについて、再生草の収量調査を実施しました。

今後、一番草の収量調査結果と合わせ、研修会等で紹介する予定です。

引き続き、地域に適した栽培方法について調査を行うなど飼料作物の安定生産を支援します。



展示ほ場の様子

専4 産地ビジョンに基づいた果菜類(きゅうり・ピーマン)の生産性向上

1) 南那珂地区営農振興協議会野菜部会第6回技術員会の開催

5日、第6回野菜技術員会を開催しました。各品目の生育概況の共有のほか、次年度の展示ほ計画や役員改選案を協議しました。また、新たな高収益露地作物(ラディッキオ等)の導入についても検討を行いました。

今後も関係機関と連携し、産地の活性化と技術の普及に努めていきます。



技術員会の様子

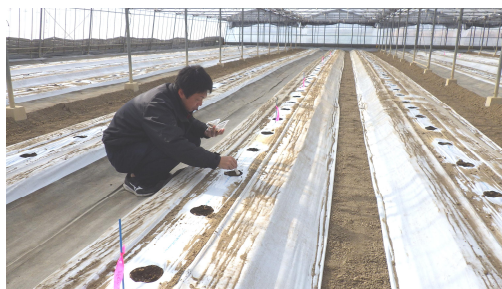
2) 夏秋ピーマン(雨除け栽培)における保水材処理技術の検討

ピーマンの生育初期に高温等で苗がしおれると、生育に大きな影響が出ます。

その対策として、土壌中で水分を保持する保水材を処理することで生育の安定化を図る展示ほを設置しました。

11日に植穴への混和処理を実施し、13日に定植が完了しました。

今後は定期的な生育調査を行うとともに、高温・乾燥が懸念される5月以降の萎れ軽減効果に着目し、保水効果の持続性についても検証を行っていきます。



保水材処理の様子

専5 環境制御によるマンゴーの品質向上と露地かんきつの経営安定

1) 串間市大東地区本部露地へべす学習会が開催

4日、串間市大東地区本部管内において、へべす生産者4名の参加のもと標記学習会が開催されました。

会では普及センターから剪定から開花期の管理、JAから今年度改訂した栽培暦の説明をした後、実際にへべすの樹を剪定し、手順等を確認しました。

今後もJAと連携し、収量・品質向上に向けて支援します。

専6 南那珂花き産地戦略に基づいた産地育成

1) 第6回花き技術員会が開催

12日、今年度最後の花き技術員会を開催しました。各品目の生育概況報告や展示ほの進捗状況確認のほか、スイートピーの新たな担い手の呼び込みツールであるチラシ、リーフレットの検討を行いました。

今後も関係機関と連携し、栽培管理技術の普及や花き新規就農者の支援体制整備を行い、管内の花き産地の維持発展を目指していきます。

2) スイートピー出荷終了式が開催

25日、はまゆう地区本部において、出荷終了式が開催されました。式では、はまゆう地区本部より、今作の出荷状況について説明が行われました。

資材等の物価高騰や高温障害対策等で生産者の皆さんも管理が大変な中でしたが、天候にも恵まれ、462万本（前年比146%）の出荷となりました。

今後は来作に向けた種取りを実施するため、引き続き管理支援を行っていきます。



終了式当日の出荷の様子

農業者、漁業者、県民の皆さまの「知りたい！伝えたい！相談したい！」にお応えします！

宮崎県農業・水産業ナビ **ひなたMAFiN**
Miyazaki Agriculture and Fisheries Navigation

農業・水産業に関する

- ⇒ 多様な情報をホームページでわかりやすく提供！
- ⇒ タイムリーな情報をSNSなどを活用して発信！
- ⇒ 皆さまの思いや意見を集約！

ひなたMAFiN 検索

メルマガ登録はこちら